



学校だより

1月号 (第197号)

令和6年1月9日発行
横浜市立並木中央小学校
学校長 齋藤 由美子

「見えないカーテン」を大切にしながら

校長 齋藤 由美子

この度の能登半島地震に際し、被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・再建をお祈りいたします。正月早々の大地震、そして航空機事故と大変辛い年明けとなりました。学校は、様々なことを想像し、予知・予見を働かせ、危機に備えていきます。

さて、年明けからドリコンに向けて練習が本格化し、子どもたちの気持ちも高まります。この取組を通して、楽器演奏スキルだけでなく、子どもたちの心の強さ、相手を想いやる優しさ、協力する力が身につくことを意識しながら教育活動に努めていきたいと思えます。

過日、さくりんサポーターズ(並木中央小学校地域学校協働本部)との共催で、4～6年生を対象にした横浜市立大学の看護科の先生による包括的性教育の授業がありました。その中で、「人と人の中には、見えないカーテンがある」という話がありました。どんなに仲良しであろうと、互いがどういう関係性であろうと、人と人の中には、その人の大切な心のスペースがあり、誰であろうと間のカーテンを勝手に開けたり、無遠慮に踏み込んだり、見えないと思って破ったりしてはいけないという内容でした。自分の周りにいる人の人権を尊重する力を育む大切な話でした。これは、昨今、小中高生で問題となっているネットトラブルにも通じるものであり、また大人の世界でも互いが振り返らなくてはいけないことだと痛感しました。互いの心は見えないカーテンで仕切られているからこそ、相手と接するには暴言、暴力でなく、相手に伝わる言葉を駆使し、心を使って伝えていくことが大切です。自分が発信する言葉や態度は、自らが試されているのかもしれませんが、子どもたちが、こういう学びを重ねていくことは、将来、相手意識をもった大人を育てることであり、本校の学校教育目標の一つであるコミュニケーション力をつける大切な学びの場でありました。開催にご尽力くださった学校・地域コーディネーター竹中様、ありがとうございました。

今年も子どもたちは、笑ったり泣いたりを繰り返しながら、大きく成長していくと思います。私たちは、彼らの解決力を信じましょう。子どもたちが、天に昇る龍のように力強く充実した一年になることを願って、教職員一同、教育活動に努めます。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。